

平成 30 年度

第 1 回 北海道におけるデジタルエンタテインメント関連人材育成体制整備実施委員会
議事録

会議日付： 平成 30 年 7 月 17 日（火）

会議時間： 17：00～18：00

会議場所： 吉田学園情報ビジネス専門学校 3 階 Jo:Bi ホール

議長： 橋本 直樹

書記： 北村 吉正

出席者： 柏尾 典秀（学校法人栗原学園 北見情報ビジネス専門学校 理事長）

田中 政史（学校法人美専学園 北海道芸術デザイン専門学校 マルチメディアデザイン学科長）

田村 禎広（株式会社グループボックスジャパン 常務取締役）

三上 哲（株式会社ハ・ン・ド 執行役員札幌スタジオ GM）

安保 英樹（株式会社アレクト 取締役副社長／CTO）

小林 隆志（exsa 株式会社 札幌スタジオ所長）

小椋 透（株式会社 G-Style CG 制作部 モーションリードデザイナー／広報）

佐々木 孝（北海道経済産業局 情報・サービス政策課 課長補佐）：代理

楢山 浩輝（北海道経済産業局 情報・サービス政策課 情報化推進係長）：代理

田巻 賢一（総務省北海道総合通信局 情報通信部情報通信連携推進課 上席）：代理

上野 修司（北海道経済部産業振興局 産業振興課 主幹）

濱口 伸哉（札幌市経済観光局 国際経済戦略室 IT・クリエイティブ産業担当課）：代理

辻尾 晋一（カナダ政府 札幌通商事務所 通商代表）

桐畑 卓也（一般社団法人北海道モバイルコンテンツ・ビジネス協議会 事務局）

橋本 直樹（吉田学園情報ビジネス専門学校 副校長）

千葉 一俊（吉田学園情報ビジネス専門学校 学科長）

川東 博之（吉田学園情報ビジネス専門学校 教員）

井畑 弘恵（吉田学園情報ビジネス専門学校 事務部）

北村 吉正（吉田学園情報ビジネス専門学校 教員）

請負業者： 飯塚 正成（有限会社ザ・ライスマウンド 代表）

オブザーバー： 吉田 圭子（総務省北海道総合通信局 情報通信部情報通信連携推進課 チーフ）

欠席者： 佐藤 孝憲（学校法人片柳学園 日本工学院北海道専門学校 事務部 入学広報課）

中嶋 知彦（株式会社ロケットスタジオ 取締役 東京支店長）

篠原 たかこ（公益財団法人画像情報教育振興協議会 教育事業部教育企画推進部 部長）

< 議 案 >

1. 平成 30 年度の事業計画概要について

(ア) 委員長 橋本直樹より 事業計画書抜粋資料に沿って報告

- ① 平成 30 年 6 月 27 日付文書にて、平成 30 年度の事業計画書が承認された事を報告した。
- ② カナダ視察にご助力いただくべく、辻尾 晋一氏（カナダ政府 札幌通商事務所 通商代表）に委員として加わっていただいた事を報告した。
- ③ 人事異動などの事由による、委員の交代と事務局員の交代を報告した。
- ④ 30 年度の年次計画に、国内視察（神戸、福岡）を加えたことを報告した。
- ⑤ 今後のスケジュールについて、新たに加わった神戸・福岡視察の日程を加えた改訂版を報告、共有した。

2. 人材育成イベントについて

(ア) 本年度実施予定の人材育成イベントについて、合致しそうな提案が札幌市立大通高校教諭よりあった。

- ① 次回開催時に参加を依頼し、概要等について説明いただくことが承認された。

3. 今後のスケジュールについて

(ア) 新たに加わった神戸、福岡視察の日程を加えた改訂版を報告、共有した。

- ① カナダ視察日程について、新たに委員に加わった辻尾氏からのご助言により、訪問先の状況や予算を鑑みて、10月実施で検討することとした。

4. カナダ・神戸・福岡の各種視察について

(ア) カナダ視察に関しては実施委員会、福岡・神戸視察に関してはゲーム及び CG 人材育成委員会にて準備運営を進めていくことを説明した。

(イ) カナダ視察について説明した。

- ① 辻尾氏より、事前にカナダのデジタルコンテンツ業界の現状を説明いただいたものと前回の会議における海外視察に関する説明を振り返り、あらためて情報共有した。

(ウ) カナダ視察に対して、各委員会メンバーの参加可否を確認したい。

- ① 旅程は 8 日間を予定している事を共有した。
- ② 代理参加はできるだけ避けるべき旨を共有した。
- ③ 視察先と調整した日程をもって再度視察メンバーを再考することとした。

(エ) カナダ視察に関して、辻尾氏から補足情報を共有した。

- ① カナダのマルチカルチャー性、人種のモザイクと呼ばれる様子をぜひ見てほしい。
- ② 世界的に著名なゲームパブリッシャーである UBI カナダも、フランス本社より大規模に成長している。マルチカルチャー性が一因であると考えている。
- ③ 視察について、カナダの文化背景を知ってもらえるようなアレンジに協力したい。
- ④ 経産局のカナダ視察（SIGGRAPHバンクーバー視察など）も実施している。

(ア) 視察後、SIGGRAPHバンクーバーの情報を本委員会でも共有いただきたいことを依頼した。

(オ) 視察の受け入れ側のメリットを準備した上で訪問したい旨を共有した。

① 事前に各委員から提案をいただきたい。

5. その他

(ア) 北海道総合通信局情報通信部より、情報共有がなされた。

① 本年度実施予定の総務省主催による人材育成イベントについて、資料を元に情報が共有された。

以上